

■日時：2018年12月15日（土）～16日（日）

■場所：千葉工業大学

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1

津田沼駅 駅前（南口）徒歩1分<東京駅から快速で28分>

<https://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/tsudanuma/>

■会場：611 講義室（6号館1階）

大きなビル（1号館、2号館）の間が6号館

<https://www.it-chiba.ac.jp/institute/campus/tsudanuma/>

■プログラム

12月15日（土）

12:30～13:15 受付

13:15～14:45 オープニング，基調講演

「合意形成手法 D-Case の研究および普及活動

-研究室の立ち上げからこれまでの4年間の活動を通して-」

松野裕（日本大学理工学部応用情報工学科）

15:00～15:20 特別セッション

「組込みシステムにおける UI デバイスを考慮した UI 設計指針の検討」

外山祥平、平山雅之（日本大学理工学部応用情報工学科）

15:20～16:20 セッション1 （2件） 調査報告

「ファンクションポイントについての研究論文の系統的レビュー」

山田 涼太， 松本真佑， 肥後芳樹， 楠本真二（大阪大学）

「教材の信頼性に関する、受講者のクレームからの考察」

毛利幸雄（Professional Instructor & Facilitator Training,

大阪大学大学院情報科学研究科 非常勤講師，

徳島大学 非常勤講師）

16:30～18:00 セッション2 （3件） 品質(1)

「ロジスティック回帰分析を利用した組み合わせテスト結果からの不具合誘発パラメータ

組み合わせ特定法の改善」

西浦生成（産業技術総合研究所，京都工芸繊維大学），

崔銀恵（産業技術総合研究所），水野修（京都工芸繊維大学）

「変数名の紛らわしさが及ぼす影響に関する考察」

阿萬 裕久（愛媛大学）

「階層的な制御構造をもつシーケンス図のプロセス表現」

井川直，横川智教，有本和民（岡山県立大学）

12月16日(日)

8:30~9:00 受付

9:00~10:30 セッション3 (3件) 保守

「ソフトウェアエンハンス開発におけるソースコード変更調査の改善」

菊地奈穂美 (沖電気工業株式会社)

「ソフトウェアメンテナンスプロジェクトチームの心理的安全確保に向けた CAST 適用の事例」

三輪東 (SCSK 株式会社)

「ソースコード要約におけるメソッドの抽出的要約手法の提案」

小林勇揮, 水野修 (京都工芸繊維大学)

10:45~11:45 セッション4 (2件) 品質(2)

「顧客と共創する継続的品質改善活動」

伊藤修司 (SCSK 株式会社)

「Cross-Project Defect Prediction 手法を過去プロジェクトデータに用いた不具合モジュール予測の調査」

天寄聡介 (岡山県立大学)

11:45~12:00 クロージング